

PETRI

COMPACT

18 × 24mm SIZE



PETRI

INSTRUCTION BOOKLET

ペトリコンパクト Eの主な性能

使用フィルム	35ミリフィルム 40枚または72枚撮り
画面サイズ	18×42mm(ハーフサイズ)
レンズ	ペトリオリコールF 2.8 28mm (3群4枚構成) アンバーコーティング
シャッター	ペトリカーベルS B, $\frac{1}{15}$, $\frac{1}{30}$, $\frac{1}{60}$, $\frac{1}{125}$, $\frac{1}{250}$ 秒 シンクロX接点内蔵
露出計内蔵	高性能反射光式電気露出計内蔵、直読式
焦点調節	前玉回転式、 ∞ , S(5), G(3) 1.5, 1.2, 1, P(0.8), 0.7m
ファインダー	逆ガリレオ採光窓式 ライトフレーム、パララックス矯正指標付 グリーンファインダー 倍率0.5倍
フィルム巻上	1作動式トリガーレバー 余裕角28° 巻上角40° 同時セルフコッキング
その他	自動復元式フィルムカウンター クランク式フィルム巻戻し

18×24mm 判

ペトリコンパクト E

■ 電気露出計内蔵 ■



¥10,600

ケース ¥1,200
グリップバンド付



スーツとポケットへ……

携帯は理想的です

ラジオにトランジスターの時代が来たように、カメラにも小型軽量のコンパクト時代がやってきました。ペトリコンパクトEは、どこでも入手しやすい35ミリフィルムを使いながら、洋服のポケットにも、女性のハンドバッグにもひそませられる小ささです。(寸法は10.7×7.6×4.7cm、重さは390g)しかも凸起部が少ないので、ポケットへの出し入れもスムーズに行えます。

ペトリコンパクトEは非常に携帯が便利なので、毎日のご通勤にもご通学にも、いつでもためらわずに持って歩くことができ、偶然のチャンスをのがすことはありません。それにデザインの良さ、仕上の美しさは格別です。



2

経済的、しかも
四切以上の引伸
が十分にできる
ハーフサイズ

ペトリコンパクト
Eは35ミリ判(24×
36ミリ)の半分の、ハ
ーフ判(18×24ミリ)
ですから、20枚撮り
のフィルムでは40枚、
36枚撮りでは72枚も
撮れます。1コマ当り
のフィルム代、現像



ハーフ判からキャビネに引伸した印画の一部

料、ベタ焼き代などすべて半額で経済的です。
しかも、適切に処理された、ハーフ判のネ
ガは、四切判(約25×30cm)以上の引伸にも
十分にたえられる能力をもっており、粒子が
荒れたり、画質の悪くなるおそれがありませ
ん。更に大きく引伸したい場合は、SまたはF
クラスのフィルムを使えばOKです。ネガで
も反転でもカラーフィルムが自由に使い、し
かも2倍の枚数を写せるのも大きな魅力です。





3

すばらしい描写の ペトリオリコール F2.8 28ミリ

ペトリオリコールF2.8 28ミリは、3群4枚構成のすばらしい描写力をもったレンズです。写角は56度ですから、丁度35ミリ判のカメラでいえば40ミリ程の準広角にがい当します。このレンズは解像力が非常によく、F2.8開放でも画面の周辺までシャープな影像を結び、カラー撮影にも絶好です。

短焦点レンズなので被写界深度が極めて深く、ピントを気にする必要がありません。目測式で十分なのです。絞り(F8)、シャッター($\frac{1}{60}$)、距離(S)の赤文字に合わせれば、固定焦点カメラとして初歩の方でもお子さまでもすべてをはっきり写せます。しかも0.7メートルまでの接写を楽しめます。





4

低速度から高速度まで ペトリカーペル S

軽快なシャッターとして定評のあるペトリカーペル S は、B (バルブ) の他に $\frac{1}{15}$ 秒の低速度から $\frac{1}{250}$ 秒の高速度まで、5 段階の速度をもっていますから、どんな被写体でも写すことができます。しかもこの速度目盛は絞り目盛と同様に、倍数系列、等間隔に目盛られており、クリックストップになっていますから、露出の設定が容易に行えます。

F 2.8 $\frac{1}{60}$ 秒で露出すれば、かなり暗い被写体でも明るく写すことができますし、また $\frac{1}{250}$ 秒を用いれば非常にスピードのある動体でも写し止めることが可能です。

ボデーリリースの圧力は 250 g と軽く抵抗のためのカメラぶれのおそれがありません。



$\frac{1}{250}$ 秒で写し止めた高速動体



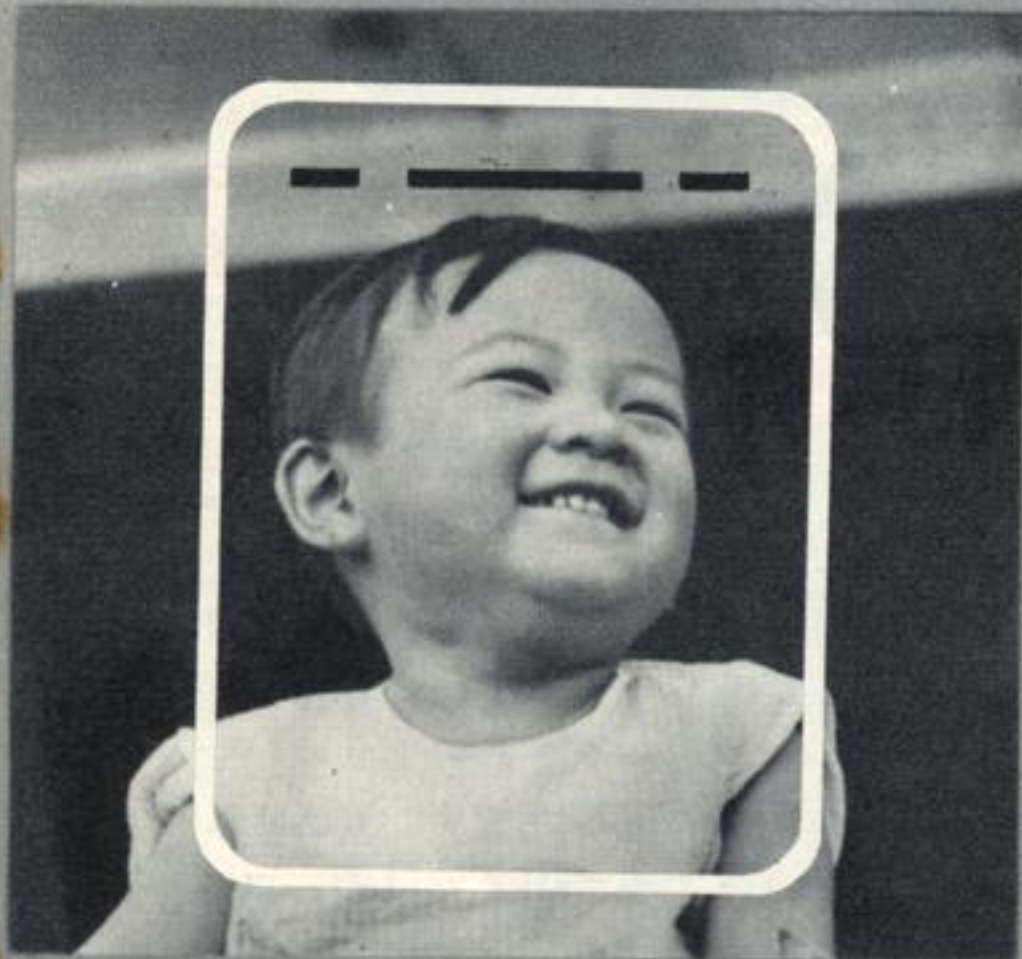
$\frac{1}{60}$ 秒で写した夜のスタンプ

5

明るく見やすい ブライトフレームの グリーンファインダー

ファインダーをのぞくと、被写体が緑色に見えますが、これはグリーンフィルターを用いているからで、長時間にわたってファインダーをのぞいても眼の疲れを覚えません。このフィルターは特殊クラウンガラスを使用していますから、非常に明るく、被写体に適度なコントラストをつけるので、非常に見やすくなっています。

ファインダーの中に見える金色の明るいゴールド・ブライツフレームは、撮影画面と同じ正しい視野を決めるもので、このフレームはのぞき方が多少狂っても、視野がズレるおそれがありません。



近接撮影とパララックス矯正

レンズとファインダーの位置に差があるため、近接する程ファインダー視野と実画面のズレ（パララックス）が大きくなるものですが、ベトリコンパクトEではこれを矯正するために、フレーム内の上部に赤色ラインの指標を設け、至近距離撮影の場合の目安としております。(上の写真参照)



6

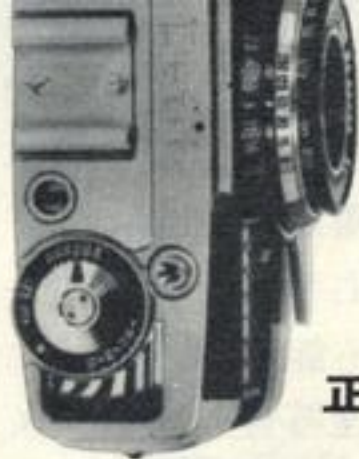
最高の速写性を誇る トリガーレバー

1秒間に1枚以上の連続速写ができる、と
いったら驚かれる方も多いと思いますが、こ
れはペトリコンパクトEのトリガーレバーだ
けがもつ最高の速写性です。ピストルの引金
を引くように左手で引くだけで、フィルムが
1コマ分巻上げられ、シャッターがセットさ

れます。(セルフコッキング)レバーの巻上角
度はわずか40度(余裕角28度)で、軽くスム
ースに作動します。勿論二重露出防止です。

左手でレバーを巻上げ、右手でシャッター
を切りますから、両手を最も能率よく使うこ
とになり、上記の驚異的な速写性が生れてく
るわけです。子供の瞬
間的な表情の動きをと
らえるのも、猛烈なス
ピードで走るオートバ
イの動きを的確にとら
えるのも、このトリガ
ーレバーによれば容易
です。下の写真は連続
撮影の例です。





7

正確な露出をきめる

電気露出計内蔵

ペトリコンパクトEには精度のよい超小型電気露出計が内蔵されています。この露出計は反射光式といって、被写体から反射されてくる光を測ります。つまり光を受光板に受けることによって指針が動き、正しい露出を指示するようになっています。高低の切替が不要ですし、直読式ですから、ダイヤルの操作だけで、どなたにも迅速、確実に適正露出が求められます。しかもカメラを両手に持ったまま、右手親指だけで操作できますから、全く面倒がありません。

露出に対する心配はこの露出計内蔵によって一掃されたわけで、測定範囲はASA100の場合、L.V7からL.V16までの広さです。



軽快なボデーリリース

カメラが軽量なのでボデーリリースの圧力もそれに合わせて250gの軽さですから、カメラぶれのおそれがなく、シャッターチャンスをつかすこともありません。



シンクロX接点内蔵

シャッターに内蔵されているシンクロ装置はX接点ですから、シャッターの全開と同時に電流が流れます。シンクロターミナルは最も一般的なJISのB型です。

その他の特長



迅速な巻戻しクランク

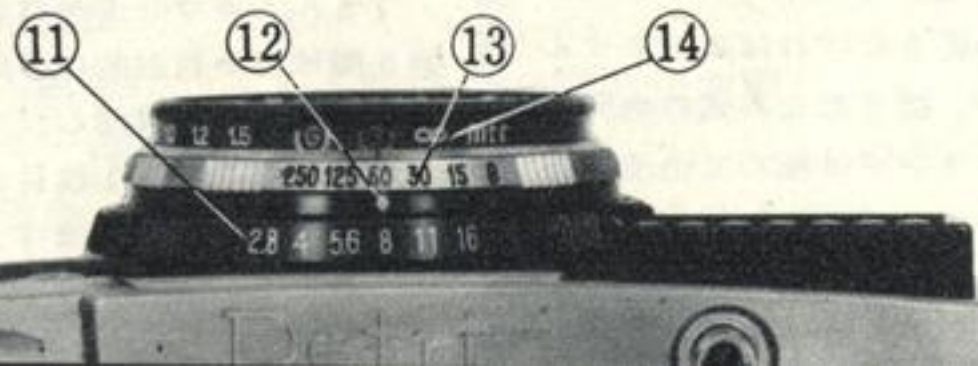
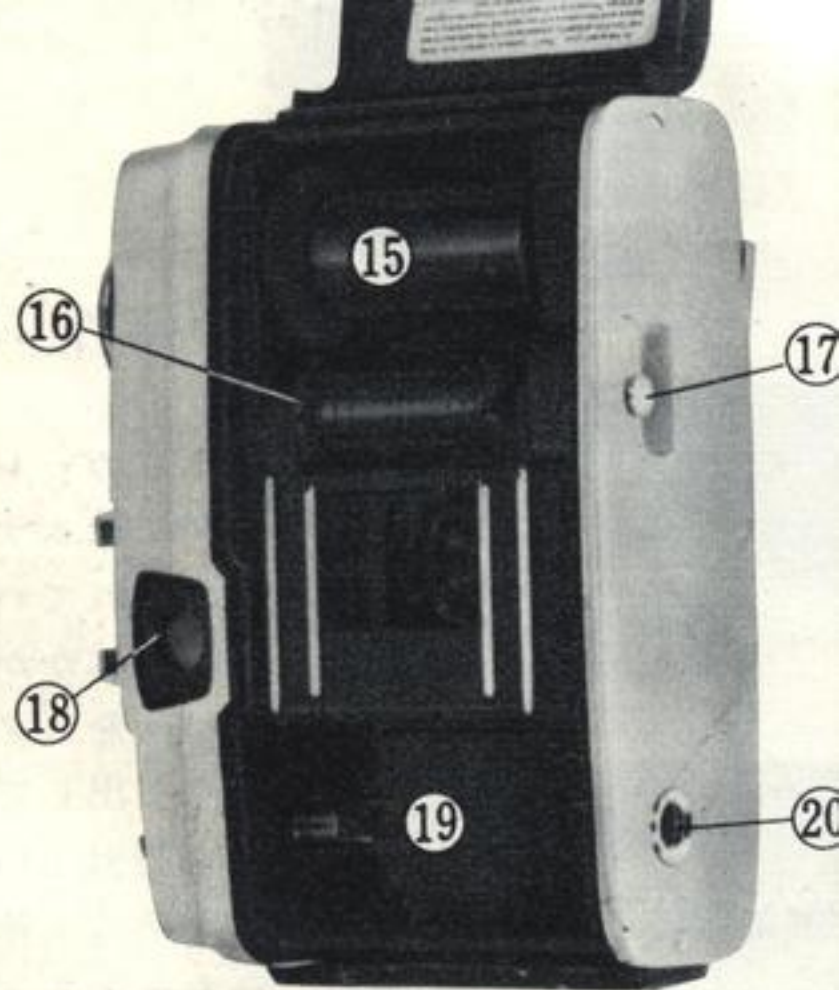
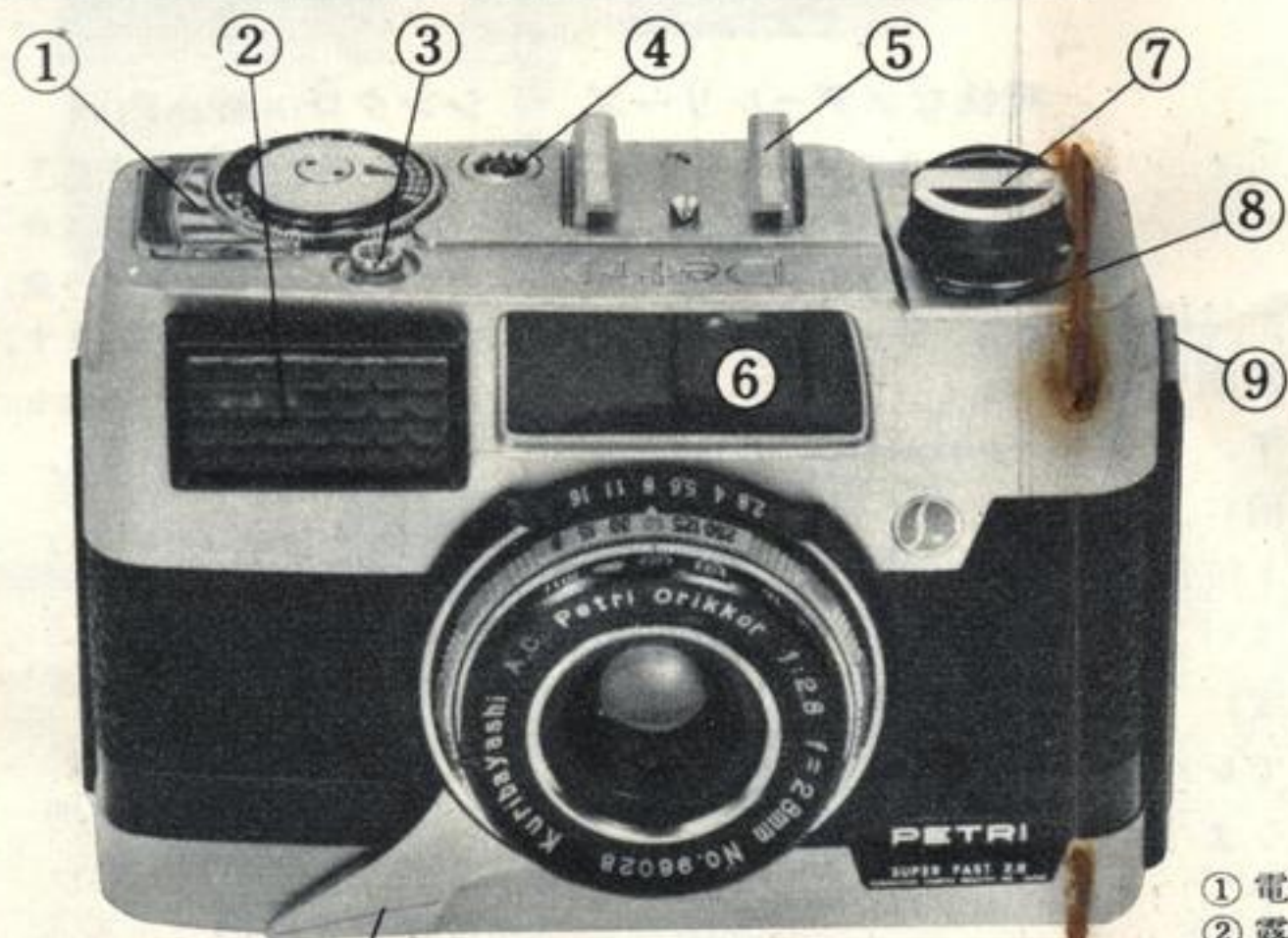
撮影の終わったフィルムは巻戻さなければなりません。折りたたみ式の巻戻しクランクは極めて迅速に操作できます。



自動復元式のフィルムカウンター

フィルムカウンターは裏蓋を開けると自動的にS印(スタート)に復帰し、フィルム装填の際は1枚目が自動的にNo.1に合います。

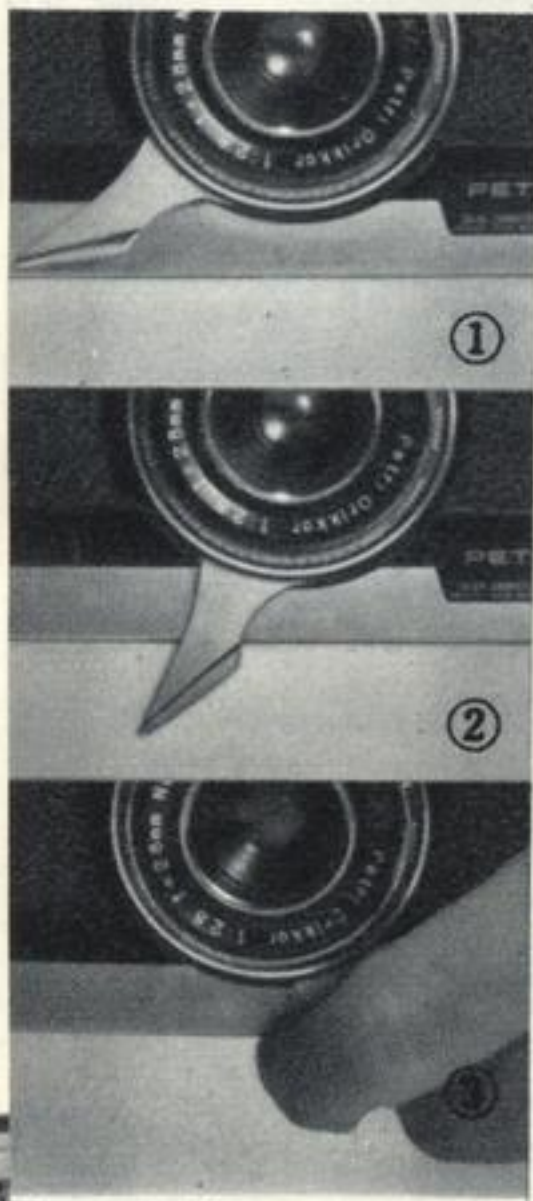
ペトリコンパクト E・各部の名称



- | | |
|-------------|---------------|
| ① 電気露出計 | ⑪ 絞り目盛 |
| ② 露出計受光板 | ⑫ 絞り・シャッター指標 |
| ③ シャッターボタン | ⑬ シャッター速度目盛 |
| ④ シンクロターミナル | ⑭ 距離目盛 |
| ⑤ アクセサリーシュー | ⑮ 巻取りスプール |
| ⑥ ファインダー | ⑯ スプロケット |
| ⑦ 巻戻しクランク | ⑰ リターンボタン |
| ⑧ フィルム枚数計 | ⑱ アイピース |
| ⑨ 裏蓋開閉レバー | ⑲ バトロネボックス |
| ⑩ トリガーレバー | ⑳ グリップバンド用ねじ穴 |

扱い方

トリガーレバーの操作



①トリガーレバーは携帯時にはボデー前面に収められています。

②撮影にかかる前に、レバーをスタート位置まで引出して下さい。
(余裕引出角28度)

③左手の人差指でレバーを止まるどころまで引いてはなします。
(巻上角40度)

1作動でフィルムが1コマ分巻上げられ、同時にシャッターがセットされます。



■トリガーレバーは完全に止まるまで引かないと、シャッターが作動しません。誤って途中までしか引かなかった場合は、改めて引き直して下さい。

■トリガーレバーを操作した後は、シャッターを切らない限り、再び操作することはできません。(空送り防止) また、シャッターを切った後は、このレバーを操作しない限り再びシャッターを切ることはできません。(二重露出防止)

■フィルムを巻上げた後、シャッター速度を変えてもさしつかえありません。ただし、シャッターをセットしたまま、長時間放置することは、シャッターのためによくありませんから、なるべく撮影の直前に操作して下さい。

フィルムの入れ方

ペトリコンパクトEはパトローネ入りの35ミリフィルムを使用します。日中装填用ならそのまま明るい所で装填できますが、暗室装填用のフィルムは、真暗な場所(暗室)で空のパトローネに巻き直して入れなければなりません。

フィルムを直射日光下に入れるのはさげましょう。できるだけ日陰をえらんで下さい。

次はフィルムを入れる順序です。



1

裏蓋開閉レバーに爪をかけて引くと、裏蓋がスプリングの力で開きます。



2

巻戻しクランクをつまんで引出しパトローネをパトローネボックスに納めます

3

フィルムの先端を巻取りスプールの溝に差しこみ、パーフォレーション(爪孔)を溝の凸起にひっかけます。

4

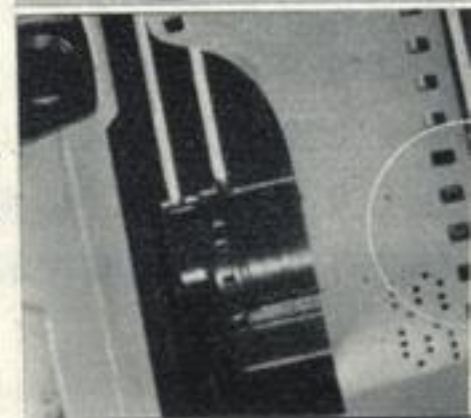
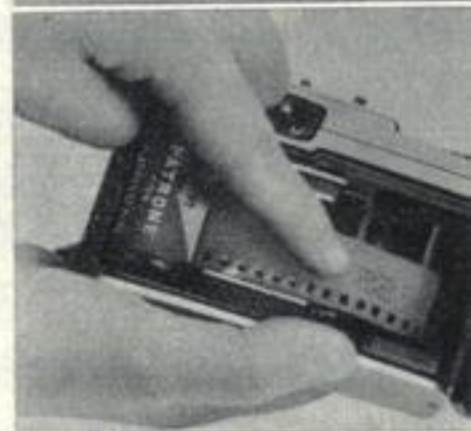
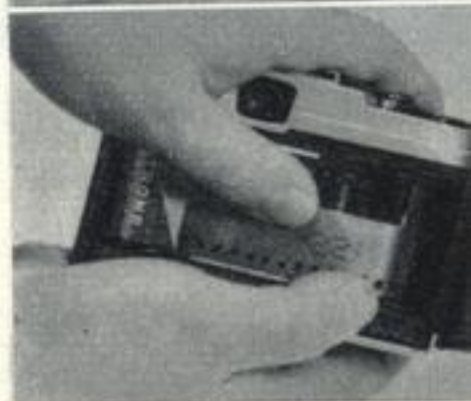
スプールのつばに指をかけて1回転程回します。

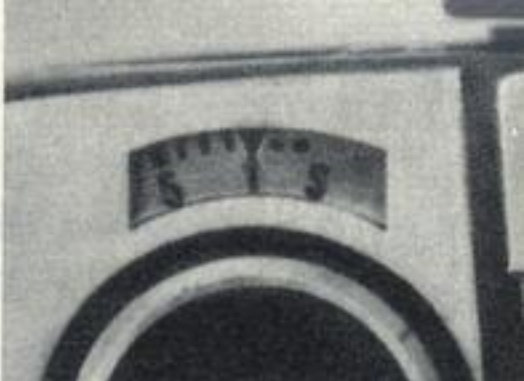
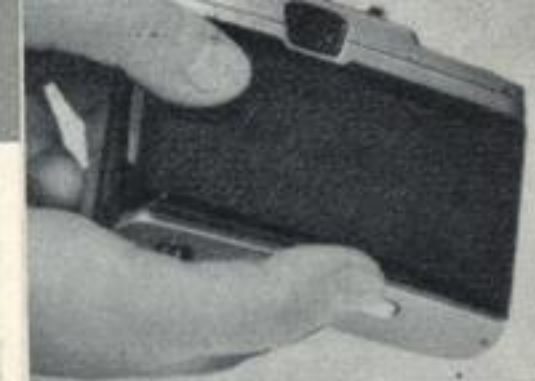
5

フィルムが巻取りスプールにまっすぐ巻きこまれタルミのないようにして下さい。

6

このときパーフォレーションとスプロケットのギヤが完全にかみ合っていないと、フィルムが破れる可能性があります。





7
裏蓋を押せばパチンと自動的に閉まります。

8
このときフィルムカウンターはSの位置に合っています。

9
レバーを巻上げ、シャッターを切る操作を2回繰り返します。

10
3回目の巻上げでフィルムカウンターはNo. 1に合います。

■フィルムの先端を巻取りスプールに差しこむとき、スプールのつばを回転させて、溝の位置を差しこみやすい位置に直して下さい。

■パトローネを納めて、巻戻しクランクを押しこんでも、うまく入らないときは、クランクを左右に回しながら押しこめば入ります。

■パーフォレーションがスプロケットのギャにうまくかみ合っていないと、パーフォレーションが切れてフィルムが巻けなくなることがありますから、必ず確認して下さい。これはフィルムの装填中最も大切な要点です。

■フィルムが正しく巻上げられているときは巻戻しクランクが矢印と逆の方向に回りますから、この点も注意して下さい。ただし、パトローネの中でフィルムがゆるんでいるときは回りませんから、巻戻しクランクを矢印の方向に回してフィルムをしめた後、確認して下さい。もしそれでも巻戻しクランクが回らなければ、フィルムが巻上げられていないと判断されます。

■10の操作（3回目の巻上げ）は撮影直前に行うようにして下さい。

撮影の順序

フィルムを装填したらいよいよ撮影ですが、実際にシャッターを切るまでには、露出計で適正露出を求めた上で絞り目盛とシャッター速度目盛を合わせ、更に距離目盛を合わせなければなりません。この3つの目盛の合わせ方が、撮影成功の重要なカギとなるのです。

鏡胴周囲の3つのリング上には、それぞれ絞り、シャッター速度、距離の各目盛が刻まれていて、各リングを指でつまんで回転する

ことによって、それぞれの目盛を調節するようになっています、

①**シャッター速度目盛**の数字は、1秒の何分の1であるかを示すもので、15は $\frac{1}{15}$ 秒、250は $\frac{1}{250}$ 秒を表わしています。Bはバルブといって、シャッターを押している間中羽根が開いていますから、長時間露出に使われます。シャッター速度目盛の中間は使えません。

②**絞り目盛**は1目盛絞るごとに光量が半減しますから、シャッター速度と組合わせて露出をきめます。目盛の中間を使えます。

③**距離目盛**の数字はメートル単位です。P (0.8m) はポートレート(半身人物)用、G (3m) はグループ(集合人物)用、S (5m) はスナップ用、またそれ以上の遠景には∞(無限遠)に合わせます。



1

まずシャッター速度のリングを回して希望の速度を指標に合わせます。



2

次に絞り目盛のリングを回して、希望する絞りを指標に合わせます。



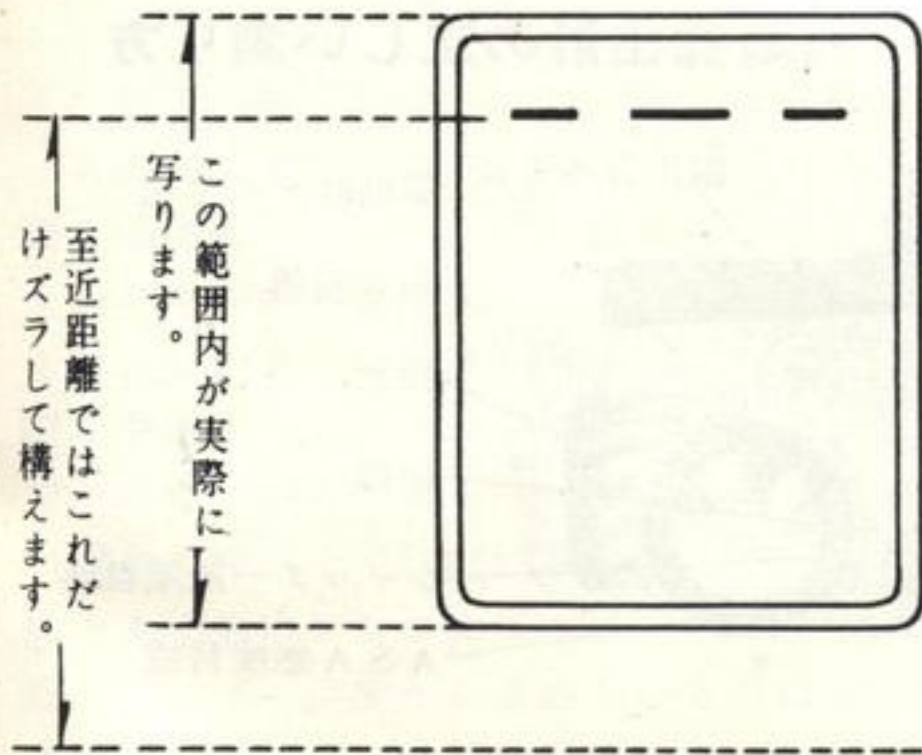
3

最後に被写体までの距離に合わせて、距離目盛のリングを回します。

構え方・ファインダーののぞき方

安定した構え方といえば、カメラを両手でしっかり持ち、カメラの背を額とか鼻にぴったりつけて、シャッターを切る瞬間に呼吸をとめるのがコツです。また両ひじは軽く体につけ、立姿では両足を開いて体全体を安定させます。下の写真を参照して下さい。

ファインダーは眼鏡をかけたまま、のぞいても構いません。金色のフレーム内に構図をきめますが、至近距離では右図のように赤マークまでのぞき方をズラして下さい。



■ベトリコンパクトEは35ミリ判のハーフサイズ（半載）ですから、カメラが横位置のときは画面が縦、カメラが縦位置のときは画面が横になります。連続速写のときはトリガーレバーに指をかけたままねらって下さい。

内蔵露出計の正しい測り方



- ①露出計ダイヤル上のポッチに爪をかけて回し、ASA感度を使用フィルムの感度目盛に合わせておきます。(写真ではASA 100)
- ②カメラ(露出計受光板)を被写体に向けると指針が動きますから、希望する絞り目盛をダイヤルのフチに親指をかけて回しながら指針に合わせます。(写真はF 8に合わせたところ)
- ③ダイヤルの反対側の指標に対応するシャッター速度目盛を読みます。(写真では $\frac{1}{125}$ 秒)

④レンズの絞り目盛とシャッター速度目盛をこれに合わせれば適正露出が得られます。

■人物撮影ではバックの光が入らないように人物に近づいて測ります。ただしカメラの影を測らないようにご注意ください。

■風景撮影ではカメラをや、下向きにして、空からの反射光が入らないように測ります。山頂や海岸のように広い風景では、測定値の露出を半分にきりつめて下さい。

■シャッター速度からきめたいときは希望の速度を指標に合わせ、指針に対応する絞りのF値を求めます。

■カラー撮影の場合も白黒撮影と同じ要領で測りますが、被写体の最明部と最暗部を別々に測り、その比が4:1以内がどうか確かめることも大切です。明暗比が余り強いとどちらかの調子がくずれますから銀レフなどで暗部を照らす必要があります。

■フィルター使用時はその露出倍数を測定値にかけて下さい。

絞りと被写界深度

絞りはフィルムに達する光の量を調節する働きのあることを前に述べましたが、この他小絞りにする程被写界深度が深くなるという性質があります。被写界深度とは、ある1点にピントを合わせたとき、その前後に生じる鮮明に写る範囲のことで、これを利用して作画的な効果を出すこともできます。

被写界深度は絞りの大きさの他に、被写体までの距離が遠い程、また焦点距離が短いレンズ程深くなる性質があります。なお、被写界深度は前方に浅く後方に深いものです。

ペトリコンパクトEのレンズの焦点距離は28ミリで極めて短かいので、目測式でもピント外れのおそれがなく、スナップ向きのカメラといえます。

赤マークによるスナップ撮影

各目盛の赤マーク（F 8、 $\frac{1}{60}$ 秒、S < 5メートル）に合わせておけば、2.28メートル以上のものはすべて鮮明に写りますから、ス

ナップのようなとっさの撮影には極めて好都合です。

露出もSS級フィルムを使えば、四季を通じて大体適

正となります。この方法によれば、初心者の方でも、小さなお子さまでも、始めから間違いなく写せます。（上の写真参照）



ペトリコンパクトE被写界深度表

(PETRI ORIKKOR F2.8 28 mm)

(in meter)

F \ mtr	2.8	4	5.6	8	11	16
0.7	0.66~ 0.74	0.64~ 0.76	0.62~ 0.78	0.60~ 0.83	0.57~ 0.89	0.53~ 1.02
Ⓟ(0.8)	0.75~ 0.85	0.73~ 0.88	0.70~ 0.91	0.67~ 0.98	0.63~ 1.06	0.58~ 1.26
1.0	0.92~ 1.08	0.90~ 1.13	0.86~ 1.19	0.81~ 1.30	0.75~ 1.46	0.68~ 1.86
1.2	1.09~ 1.32	1.05~ 1.39	1.00~ 1.49	0.93~ 1.66	0.87~ 1.94	0.77~ 2.71
1.5	1.33~ 1.70	1.27~ 1.81	1.20~ 1.98	1.11~ 2.30	1.01~ 2.89	0.88~ 5.01
Ⓞ(3)	2.40~ 3.98	2.21~ 4.64	2.00~ 5.94	1.76~ 10.2	1.52~ ~	1.24~ ~
Ⓢ(5)	3.53~ 8.53	3.14~ 12.2	2.73~ 29.1	2.28~ ~	1.90~ ~	1.48~ ~
~	12.0~ ~	8.40~ ~	6.00~ ~	4.19~ ~	3.05~ ~	2.09~ ~

撮影済みフィルムの取出し方

1

撮影が終わったらフィルムを巻戻さなければなりません。カメラ底部のリターンボタンを押したまま、次の2の操作を行います。



2

巻戻しクラックを起して矢印の方向に回して下さい。巻き終ると手ごたえが軽くなるので分ります。



3

フィルムをバトローネに巻戻した後、裏蓋を開け、巻戻しクラックを引出して、フィルムを取出します。



ペトリコンパクトEのフィルター



金属枠付22.5mmのねじ込式専用フィルターは、次の各種が用意されています。

Y1 Y2 YA3 R1 P01 各 ¥ 300
H-UV ¥ 300
W4 C4 C8 C12(カラー用) 各 ¥ 300

フィルターの色と効果

Y1, Y2 黄色系のフィルターで青空の調子を適度に落しますから、風景や戸外人物に好適です。Y2はY1より濃く効果も強いので目的により使い分けます。

YA3, R1 橙色と赤色のこのフィルターは山岳、遠景などのコントラスト効果や赤外撮影に用いられます。

P01 黄緑色のポートレート用フィルターで皮膚感をよく描写します。

H-UV 無色の紫外線カット用フィルター

W4 (温調用) C4 (冷調用) C8 (フラッシュ用) C12 (電灯光用)

● レンズフードは鏡胴の枠が深いので不要です。

栗林写真工業株式会社

営業所 (国内関係)

東京都千代田区神田小川町2-2 電話(291)4986~0

工場 (輸出関係)

東京都足立区梅島町1 電話(888)1111~4

サービスステーション (お問合せ先)

東京都千代田区神田小川町2-2 電話(291)4986~0